



令和2年度

岐阜県森林・林業関係合同発表会

林業普及活動実績発表／森林研究所研究・成果発表
国有林野業務発表／森林文化アカデミー課題研究発表



主催：岐阜県（岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター）

HP：<https://www.forest.ac.jp/>

令和2年度 岐阜県森林・林業関係合同発表会 開催要領

林業普及活動実績発表／森林研究所研究・成果発表／国有林野業務発表／森林文化アカデミー課題研究発表

- 1 目的 岐阜県内の森林・林業に携わる関係者が一堂に会し、日頃の林業普及活動や試験・課題研究等に関する実績ならびに成果の発表を通じて積極的な知識・技術の相互研鑽、交流、連携を深めるとともに、広く一般県民に対して最新の森林・林業に関する話題を直接提供することにより、岐阜県における森林・林業の発展に寄与する。
- 2 主催者 岐阜県（岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター）
【HP：<https://www.forest.ac.jp/>】
- 3 発表内容
 - ◆林業普及活動実績発表
 - ① 恵那市における森林経営管理制度の取組支援（恵那農林事務所 かわはらせいじ 河原誠二）
内容：平成31年4月1日に森林経営管理法が施行され、森林経営管理制度がスタートしました。
本制度が適切に運用されれば間伐が推進できると考え、恵那市が森林経営管理制度に基づき行う意向調査対象森林の選定や調査方法、経営管理集積計画の作成等について支援した内容について報告します。
 - ② 林業用無人化技術開発の取組（森林文化アカデミー おおしま よしひこ 大島 愛彦）
内容：岐阜県では今年度から林業用無人化技術開発（造林・育林作業の機械化・無人化）の取組を行っています。手法として地拵えと造林は高所無人掘削機を改良、下刈りはリモコン草刈機を活用して、リモコンで造林・育林作業を行うという夢のような世界を実現します。今回の岐阜県の技術開発が、国や他県、林業関係者の何かしらのヒントになることを期待しています。
 - ◆森林研究所研究・成果発表
 - ③ 間伐が森林の水源かん養機能に及ぼす効果について（専門研究員 ひさだ よしすみ 久田 善純）
内容：森林研究所では、間伐が森林の水源かん養機能に及ぼす効果を検証するため、白川町のヒノキ林で調査を行っています。間伐した流域と無間伐の流域において、枝葉で遮られずに林の地表面に届く雨量や、谷川に流出する水量などを4年間にわたり調査、比較しましたので、その結果を報告します。
 - ④ カツラ人工林で実施した間伐の効果（専門研究員 おおほら とむひろ 大洞 智宏）
内容：近年、広葉樹林の施業に興味を持つ人が増えつつあります。しかし、広葉樹林で行われた施業についての調査事例は、まだまだ少ないのが実情です。そこで、高山市荘川町のカツラ人工林で行われた間伐の方法とその効果などについて報告します。
 - ◆国有林野業務発表
 - ⑤ ニホンジカによる造林地被害に対する新たな取組について（岐阜森林管理署 はしもとかくのり 橋本角則）
内容：造林地におけるニホンジカの被害が拡大し、その対策に要する経費の掛かり増しが大きな課題となっているなかで、「忌避剤塗布による植栽木の防護」と「くくり罠を使った捕獲」を並行して再造林に伴う造林コストの削減を図った新たな取組について報告します。
 - ◆森林文化アカデミー課題研究発表
 - ⑥ ドイツBW州の小規模私有林経営における森林官の役割（クリエータ科2年 おほら ありちか 小原 光力）
内容：日本の小規模私有林所有者が抱える問題の解決方法を探るため、ドイツ BW 州の小規模私有林経営の実態を調査しました。同州では森林官が所有者の求めに応じて、適切な助言・経営支援を行っています。また、小規模私有林経営が上手く行っている事例として「小規模私有林の共有林化」があります。それには森林官が果たす役割が非常に大きいです。
 - ◆岐阜県地域森林監理士活動発表
 - ⑦ 地域森林監理士活動報告（東白川村 田口幸生（令和元年度認定））
（※）今年度は発表を見送ります。令和2年度発表予定。